

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)

【公開番号】特開 2020-140010 (P2020-140010A)

【公開日】令和 2 年 9 月 3 日 (2020.9.3)

【年通号数】公開・登録公報 2020-036

【出願番号】特願 2019-34146 (P2019-34146)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/10 (2018.01)

C 0 9 J 7/38 (2018.01)

B 3 2 B 7/022 (2019.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 7/10

C 0 9 J 7/38

B 3 2 B 7/022

G 0 9 F 9/00 3 1 3

G 0 9 F 9/00 3 6 6 A

G 0 6 F 3/041 4 9 5

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前面板と、第 1 粘着剤組成物を用いて形成された第 1 粘着剤層と、偏光子層と、第 2 粘着剤組成物を用いて形成された第 2 粘着剤層と、背面板と、をこの順に含み、

前記第 1 粘着剤組成物および前記第 2 粘着剤組成物は、いずれも（メタ）アクリル系ポリマーを含み、

前記（メタ）アクリル系ポリマーは、反応性官能基を有するモノマーに由来する構成単位が、前記（メタ）アクリル系ポリマーの全質量を基準に 5 質量%未満であり、かつ重量平均分子量（Mw）が 20 万以上 150 万以下であり、

前記偏光子層は、二色性色素を吸着させた延伸フィルムまたは延伸層、あるいは二色性色素を塗布し硬化させてなる層を有し、

前記第 1 粘着剤層の温度 25 でのせん断応力緩和率を R1、前記第 2 粘着剤層の温度 25 でのせん断応力緩和率を R2 とすると、下記の関係式 (1') :

$$R1 > R2 \quad (1')$$

を満たす、積層体。

【請求項 2】

前記第 1 粘着剤組成物を用いて形成された厚さ 150 μm の第 1 基準粘着剤層の温度 2

5 でのせん断応力緩和率を  $R_{0.1}$ 、前記第2粘着剤組成物を用いて形成された厚さ  $150\text{ }\mu\text{m}$  の第2基準粘着剤層の温度  $25$  でのせん断応力緩和率を  $R_{0.2}$ 、とすると、下記の関係式(2)及び(3)：

$$0.02 \leq R_{0.1} \leq 0.25 \quad (2)$$

$$0.02 \leq R_{0.2} \leq 0.25 \quad (3)$$

を満たす、請求項1に記載の積層体。

【請求項3】

前記背面板は、タッチセンサパネルである、請求項1又は2に記載の積層体。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載の積層体を含む表示装置。

【請求項5】

前記前面板側を外側にして屈曲可能である、請求項4に記載の表示装置。